

ポーラ文化研究所、東京大学社会科学研究所より表彰 学術研究のための調査データ寄託で貢献

ポーラ・オルビスグループで化粧に関する研究活動を行うポーラ文化研究所(所在地:東京都品川区)は、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター(以下、CSRDA)より、学術研究のための調査データ寄託に貢献したことで、2021年2月17日(水)に表彰されました。

ポーラ文化研究所では、長年、化粧・美意識に関する意識調査を行っていますが、国内外における学術研究の発展に寄与することを目的に、CSRDAが運営するSSJデータアーカイブへの調査データの寄託を2007年より開始しました。現在、2006～2017年に実施した17調査分のポーラ文化研究所の調査データがSSJデータアーカイブで公開されており、これまでに300人近い研究者の方々に利用いただいています。ポーラ文化研究所の調査データ寄託について、CSRDAから「ポーラ文化研究所は調査データを継続的に寄託され、多くの研究者が利用している。なかでも女性の化粧行動・意識に関する実態調査は、特に女性や学生の利用が多く、SSJデータアーカイブの貴重なシリーズとなっている」と評価されました。

「SSJ データアーカイブ」について

SSJ データアーカイブは、CSRDA が日本における社会科学の実証研究を支援することを目的として構築した日本で最初の組織的なデータアーカイブです。社会調査データを収集・保管し、その散逸を防ぐとともに学術目的での二次分析の普及を図り、社会科学教育に貢献しています。

CSRDA「寄託者表彰事業」について

データアーカイブを利用して質の高い学術研究を行うためには、データアーカイブのデータが質・量・多様性の3つの側面で優れたものである必要があります。CSRDA では、寄託された調査データについて、質・量・多様性の3つの側面から評価して、とくに優れた寄託者を表彰する寄託者表彰事業を2009年度より行っています。



ポーラ文化研究所について

ポーラ文化研究所は、化粧を美しさの文化としてとらえ、学術的に探究することを目的として、1976年5月15日に設立されました。以来、日本と西洋を中心に、化粧文化に関わる資料の収集と調査研究を行っています。国内外の美術館への展示協力や、現代の化粧・美意識やライフスタイルに関する調査の実施・公開などを通じて、化粧文化への理解を広げるよう努めています。

ポーラ文化研究所 HP : <https://www.cosmetic-culture.po-holdings.co.jp>

調査レポート公開中 : <https://www.cosmetic-culture.po-holdings.co.jp/report/>

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室

広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しているため、電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。

【内容に関するお問い合わせ先】ポーラ文化研究所 Mail infobunken@po-holdings.co.jp